国際交流基金情報センターライブラリーのリソースと 日本文学翻訳データベースの紹介/ Resources and Services of the New Japan Foundation Information Center Library, and an Introduction to the Foundation's Database, "Japanese Literature in Translation Search"

国際交流基金 情報センターライブラリー

栗田淳子



1. 国際交流基金情報センター(JFIC)ライブラリーの紹介 (2006年4月にリニューアルオープン)

2. 日本研究関連情報のポータルサイト "Japanese Studies Network Forum"

3. 日本文学翻訳書誌検索/" Japanese Literature in Translation Search" について

# 1. 国際交流基金情報センター(JFIC)ライブラリーの紹介

## 1) 国内の国際交流基金図書館

1. **JFIC** ライブラリー(東京) 1972年開設

図書 — 約 35,000 冊 雑誌 — 約 400 誌 新聞 — 8 紙 視聴覚資料 — 約 200 点 マイクロ資料 — 約 4,600 タイトル データベース(CD, オンライン) — 約 20

\* 資料の貸し出し・複写 個人一登録制、他図書館一貸出可能



3. 関西国際センター図書館(大阪) 1997年開設

図書一約 34,000 冊(外国語 12,000・日本語 24,000)

雑誌一約 280 誌 新聞ー 17 紙 視聴覚資料一約 1,100 点 マイクロ資料一約 1,400 タイトル CD-ROM 一約 60 点

\* 資料の貸し出し・複写 他図書館 - 貸出可能



# 2. 日本語国際センター図書館(埼玉) 1989年開設

図書 - 約34,500 冊 雑誌 - 約510 誌 新聞 - 12 紙 視聴覚資料 - 約5,300 点 マイクロ資料 - 約380 タイトル 電子携帯資料(CD-ROM等) - 約420 点 データベース(オンライン) - 4

\* 資料の貸し出し・複写個人一登録制、他図書館一貸出可能



#### 4. 京都支部図書室

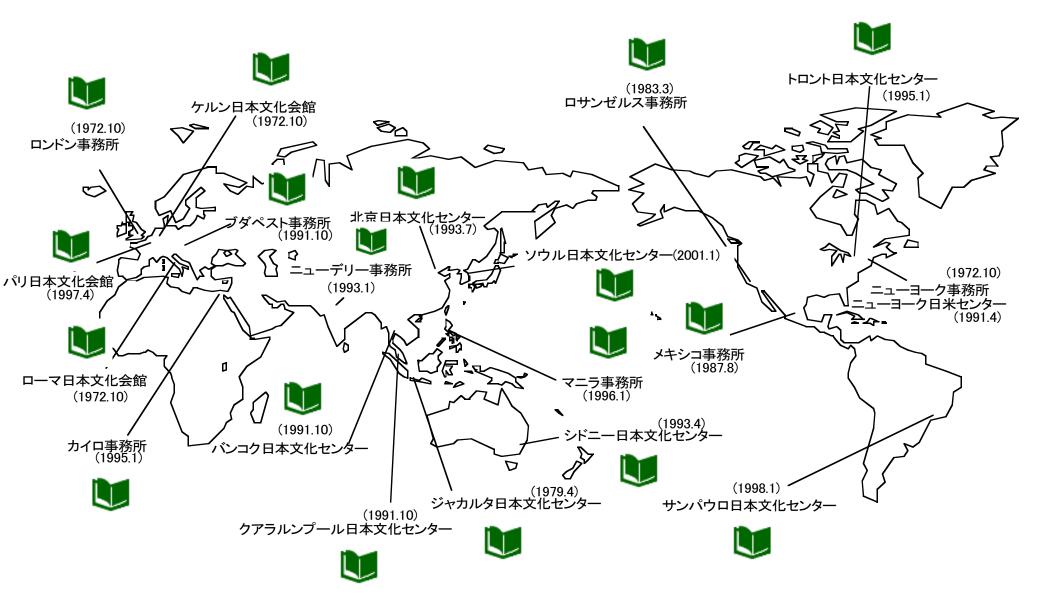
1973年開設

図書-約 6,000 冊(外国語約 5,000・日本語 1,000) 雑誌-約 80 誌 新聞-5紙 視聴覚資料-約 220 点 データベース(CD, オンライン)約5

\* 資料の貸し出し・複写 個人一登録制、他図書館一貸出可能



# 2) 世界にある国際交流基金の図書館 ①



# 3)世界にある国際交流基金図書館一覧 ②

事務所	特色	資料数(部)	1ヵ月平均入館者数(人)	備考
ローマ日本文化会館	人文社会科学	3.1万	500	イタリア人75%
ケルン日本文化会館	日本文化	2.7万	300	ドイツ人90%
パリ日本文化会館	人文社会科学(3ヶ国語)	2.5万	1,500	フランス人70%
ソウル日本文化センター	日本文化(映画・アニメDVDは網羅)	1.2万	1,700	会員制
北京日本文化センター	日本文化、日本語教育	1.1万	600	会員制(5,300人)
ジャカルタ日本文化センター	人文社会科学、日本語教育	3.0万	2,000	
バンコク日本文化センター	日本関係、日本語教育、東南アジア	2.3万	7,000	
クアラルンプール日本文化センター	日本文化、日本語教育	1.6万	700	会員制度(会費RM10)
シドニー日本文化センター	日本文化、日本語教育	1.6万	500	15歳以上利用可
トロント日本文化センター	人文社会科学	1.1万	2,000	カナダ人80%
サンパウロ日本文化センター	人文科学、日本語教育、日系移民	1.2万	700	
マニラ事務所	人文科学、日本語教育	0.2万	100	利用者は日本語教師
ニューデリー事務所				2006年に図書館開館予定
ロサンゼルス事務所	日本語教育、日本文化	1.0万	50	95%が日本語教育関係
メキシコ事務所	日本文化	0.4万	70	
ロンドン事務所	日本語教育	0.6万	200	会員制度
ブダペスト事務所	日本文化	0.6万	200	日本語学習者が中心
カイロ事務所	日本文化	0.3万	300	会員制度

2005 年の資料

### 4) 本部図書館リニューアルの背景

# ◇情報センターの設立

▶2003 年 10 月独立行政法人化 開かれた国際交流基金を目指して(2004 年5月機構改革) 広報機能の強化と情報提供重視へ 図書館⇒日本研究課の所属から情報センターの所属へ

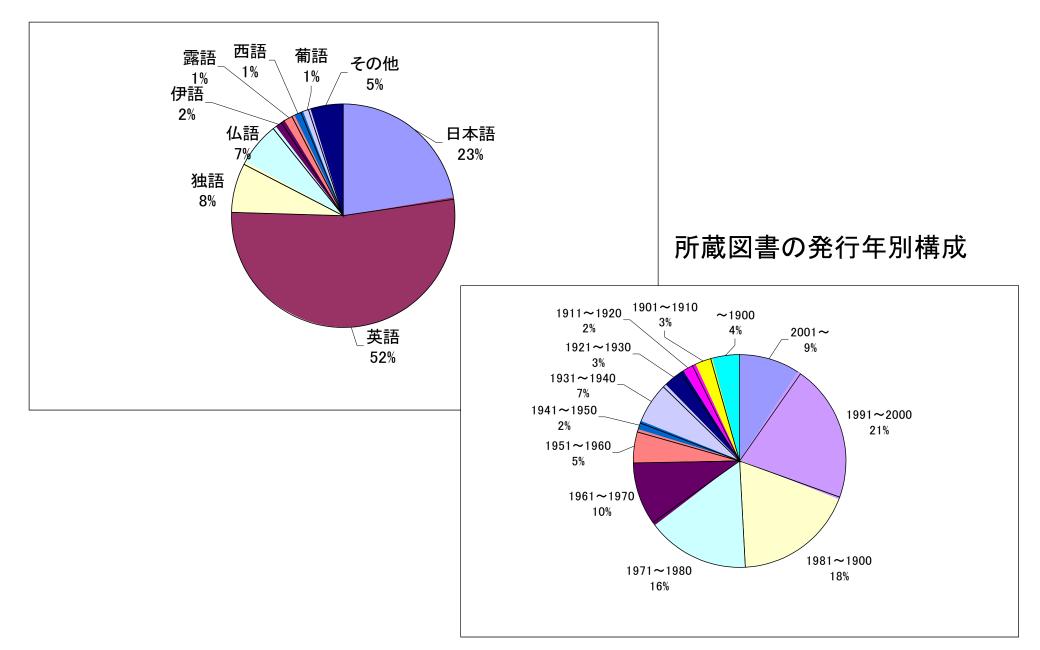
# ◇図書館から情報リソースセンターへ

▶「日本研究者のための専門図書館」という位置づけだった図書館時代のニーズへの対応 ~国際交流情報の積極的な提供~ JFICライブラリーの設置へ

### 5) JFICライブラリーの機能・リソース・サービス

- 基本的な機能:「開かれた国際交流基金の窓口」
  - ⇒日本文化・国際交流に関する情報リソースの提供・発信
  - ⇒国内・海外のJF図書館とのネットワーク調整、
    ILL、OPAC横断検索、レファレンス、データベース、資料調整、
    (雑誌総合リスト)
  - ⇒JF事業情報の提供・広報
- 〇 リソース 欧文日本関係情報資料、国際交流・文化政策などの報告書類 JF活動紹介ファイル/関連記事クリッピング
- サービス 一般公開、貸出、複写、レファレンス、ILL(限定的受付)、展示
- 今後のプロジェクト KBS(国際文化振興会)の出版物・記録のデジタル化

### 所蔵図書の言語別構成



### ○ 活動報告ファイル/関連記事クリッピングと検索データベース

・活動報告ファイル (2004年度~) 国際交流基金が実施する事業の概要を1冊のファイルに まとめたもの。事業の基本的情報を定型のフォーマットで 作成し、付属資料としてチラシ、ポスター、プレスリリース、 成果物、メディアでの紹介などをまとめている。

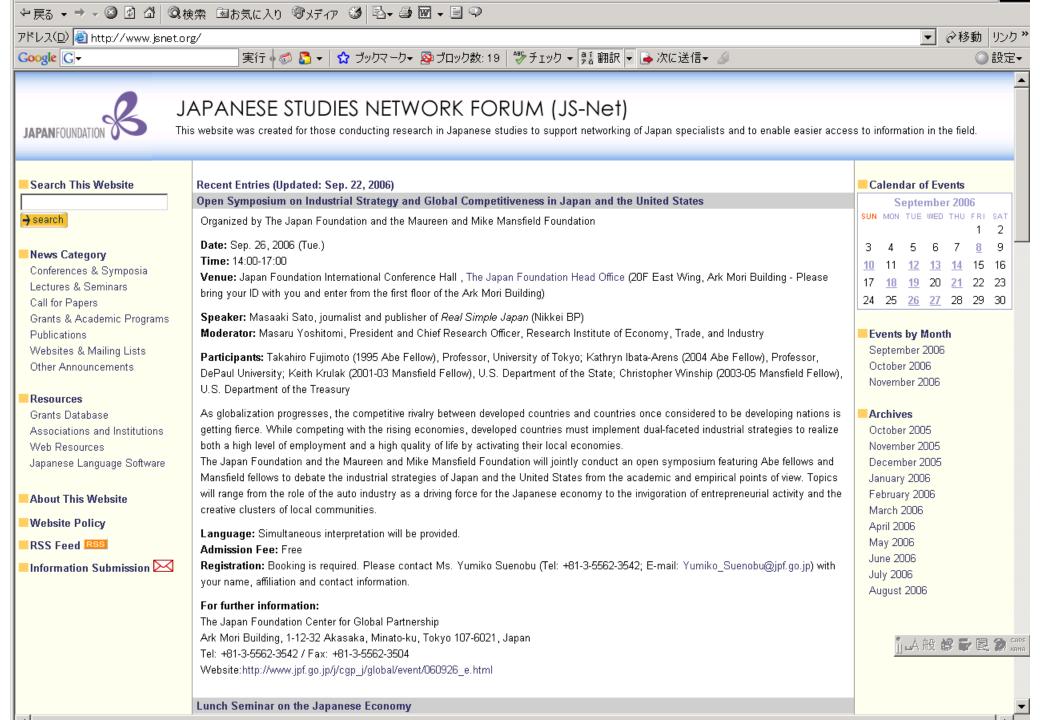


- ・関連記事クリッピング (2004年度~) 国際交流基金および文化政策・文化行政に関する内外の新聞・雑誌の 記事クリッピング
- 検索データベース2つのリソースは、キーワードや事業名、国名や事業年などから検索が可能。活動報告ファイルデータベースからは関連記事クリッピングへの横断検索が可能。

# 2. 日本研究関連情報のポータルサイト" Japanese Studies Network Forum" http://www.jsnet.org

## 1)背景

- 1996 年 web を利用した日本研究情報源提供に関する委員会
- 1997 年 website **の**開設
  - 一特に日本語で情報を探せない人を対象に英語での日本研究関係 情報源を紹介
  - 一 web リンクと日本語ソフトウエア情報が主体
- 2005 年 画面をリニューアル。Blog 版への移行
  - 一入力方法の簡素化
  - 一 web リソースのディレクトリよりニュースの発信に重点を置く
  - ーRSS によるニュースの配信。RSS リーダーにより定期的に新規登録 記事を拾うことが可能
  - ーニュースアーカイブ機能



## 2)構成内容

- O News欄 会議、Call for Papers、助成情報、出版物、リストサーブなどの紹介
- 〇 リソース 国際交流基金が助成した日本研究関連の会議や研究情報、 世界の日本研究学協会の紹介、web リソース、日本語ソフトウエア
- 3) website の今後
- 〇 ニュース欄の充実
  - 海外の日本研究関連の学協会や機関のサイトから情報収集
  - ・国内の日本研究機関(日文研、ドイツ日本研究所、日仏会館等)のサイトや メール案内から情報収集
  - 読者からの情報提供の協力
- 〇 オリジナルコンテンツの提供
  - •(例)世界各地域の日本研究調査の分析レポート
  - •(例)セミナーや会議のペーパー など

3. 日本文学翻訳書誌検索/" Japanese Literature in Translation Search"

# 1)データベース構築の背景

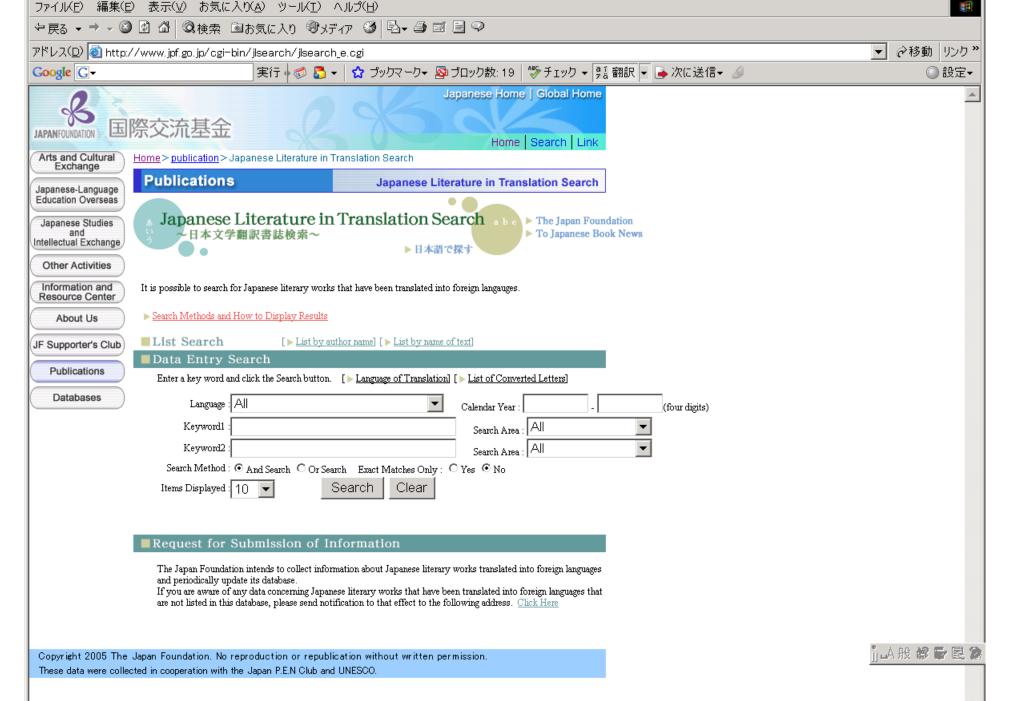
2000年~ データベース構築構想 ーレファレンスや翻訳援助での調査のため(内部利用として) 一外部から公開希望の声

2005年8月 web 上で一般公開

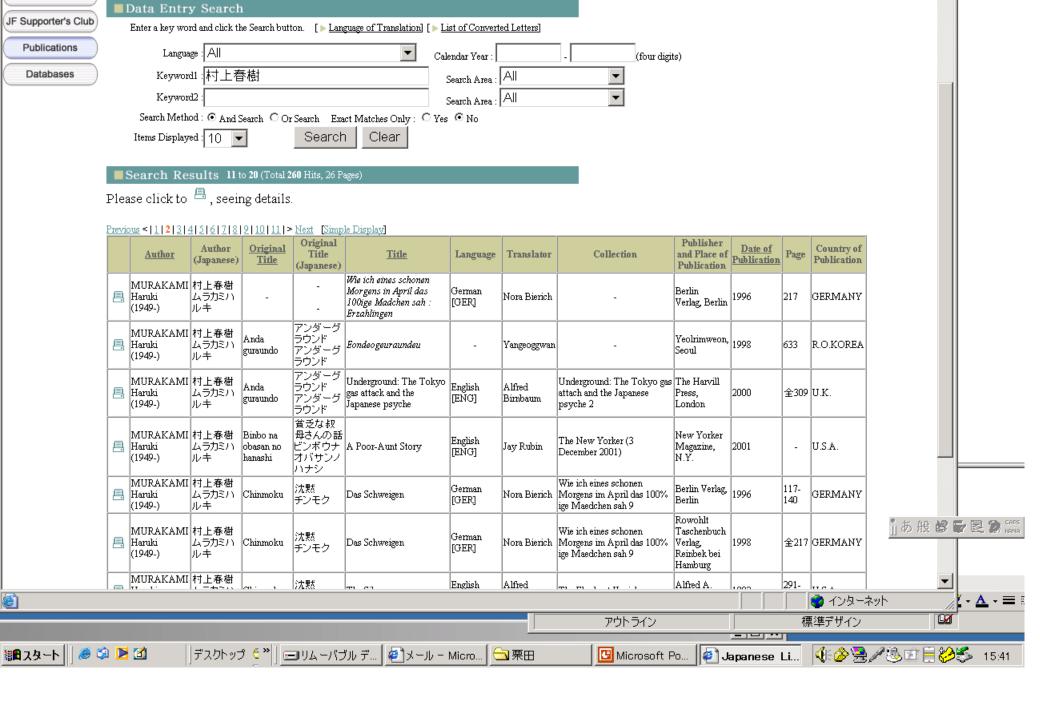
日本語トップ: http://www.jpf.go.jp/cgi-bin/jlsearch/jlsearch.cgi 英語トップ: http://www.jpf.go.jp/cgi-bin/jlsearch/jlsearch\_e.cgi

# 2) データベース構築 ①

- 〇 基となるソース
- ■" Japanese Literature in Foreign Languages 1945-1995" 日本ペンクラブ編■刊
  - 1997年 13,351 件のデータ
- " Japanese Literature Today" 日本ペンクラブ編 刊掲載の翻訳書誌から追加
  - 2,067 件のデータ
  - "Index Translationum" UNESCO 1979 ~ 2001 から日本文学翻訳のデータを抽出 (協力依頼) 4,416 件のデータから上記重複分を除く
  - ⇒ File Maker で作成したデータベースへ変換
    - ・原題の漢字名、∃ミを付加
- ・ISBNの付与は当初はなかった。その後の入力分には付与。(11月の新サー バーへ移行してからは表示される)
  - ・表記の不一致については、著者(翻訳者)と原題は典拠ファイルを作成



-



# 3) データベース構築 ②

- 検索項目 ⇒ 原題(ローマ字・漢字・ヨミ)、翻訳タイトル、著者(ローマ字・漢字・ヨミ)、翻訳者、出版社、言語、出版年、(ISBN)
- データ表記 ⇒ 著者(ローマ字、漢字、ヨミ)、原題(ローマ字、漢字、ヨミ)、 言語、翻訳者、出典、出版社、ページ、発行国、(ISBN)
- データの重複 ⇒ 版違い、ペーパーバック版、リプリント版(ISBN が異なるもの)はデータを入力
- 非ローマ言語のデータ ⇒ 現システムではほとんど入っていない 中国語と韓国語は含まれていない

# 4) データベースの収録対象および情報収集

- 〇 収録対象
  - 文学作品(古典~現代)、詩歌(短歌、俳句など)、民話、おとぎ話など全て 現代文学に重点を置く
  - \* 古典文学翻訳のリスト:

Premodern Japanese Texts and Translations / Michael Watson http://www.meijigakuin.ac.jp/~pmjs/trans/index.html (~1600)

- \* 日本文学・日本学翻訳データベース / 国文学研究資料館 http://www.nijl.ac.jp/~kiban-s/database/index.html
- 〇 情報収集 著作権エージェンシーの協力、出版社カタログ、

NACSIS-WEB CAT 等のデータベース

今後⇒JFの海外事務所での情報収集や他機関との協力

〇 現在の収録データ: 約2万2千点 (新サーバーへ移行中で現在は更新中止)

# 5)今後の課題

- データの収集 非ローマ言語の収録 特に中国語と韓国語
- 〇 作業人員の確保
- 〇 データの精度 特に"Japanese Literature in Foreign Languages 1945-1995" から取り入れたデータ
- ◎ 網羅的なデータベースというよりも Finding Tool の1つとしての利用
- ◎ データの提供のお願い
- ◎ ヨーロッパ諸言語での表記についての助言